

RICEBALL SEMINAR 2017.10

ライスボールセミナー

【日時】毎週火曜日 / 12:20-12:50

【会場】創思館 1 階カンファレンスルーム

参加費無料・おにぎり付 

※多数で参加いただいた場合、おにぎりの品切れ、および入場制限が発生する場合がございます。
あらかじめご了承ください。



VOL12

10/3

TUE.

森を出た「森」の資源

—— つながりから考える異文化世界

講師：佐久間 香子 衣笠総合研究機構 専門研究員

受入教員

先端総合学術研究科
准教授

小川さやか

VOL13

10/10

TUE.

2017年の加藤周一

講師：半田 侑子 衣笠総合研究機構 研究員

受入教員

先端総合学術研究科
教授

渡辺 公三

VOL14

10/17

TUE.

なぜ日本語の方言を研究するのか

—— 文法・語彙・オノマトペ

講師：竹田 晃子 衣笠総合研究機構 専門研究員

受入教員

言語教育情報研究科
教授

有田 節子

VOL15

10/24

TUE.

パブリック・ビューイング

—— みんなでみるテレビの意味

講師：立石 祥子 衣笠総合研究機構 専門研究員

受入教員

産業社会学部
准教授

飯田 豊

VOL16

10/31

TUE.

星が死んだら地球が冷える !?

—— 宇宙が支配していた気候変動

講師：北場 育子 総合科学技術研究機構 准教授

Exchange
Seminar
/BKC

“大学ではどんな研究が行われているのだろう？”と思ったことはありませんか？

ライスボールセミナーは、お昼の休み時間におにぎりを食べながら、若手研究者による研究発表を聞いて、自由にディスカッションを楽しむセミナーです。学生でも教職員でも、どなたでも気軽に参加していただけます。お昼のちょっとした空き時間に、是非のぞいてみてください。お茶やおにぎりをご用意してお待ちしています！

講師紹介



佐久間 香子

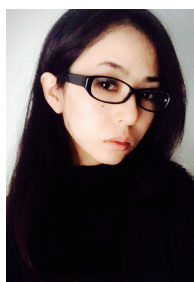
衣笠総合研究機構
専門研究員

森を出た「森」の資源
——つながりから考える異文化世界

専攻 人類学、東南アジア地域研究

研究者の道に進んだきっかけ 研究は地味でしんどい営為ですが、その過程で何度か経験する小さなひらめきの瞬間が好きで、そのまま研究者の道を進んでいます。

研究内容紹介 私たちの身近にある多くのモノは、様々な地域の、様々な材料からできています。別言すれば、モノから異文化世界にアプローチすることができるのです。今回取り上げるのはツバメの巣です。ツバメの巣は、生産地から消費地への移動に伴って付与される価値が変化すると同時に、消費地社会において人と人を強く結びつけているモノです。私がこれまで調査してきた熱帯の島、ボルネオ島の内陸部にある村では、森の中の洞窟からツバメの巣を採集することで、多額の現金収入と名誉を得てきました。翻って、ツバメの巣を消費する中国世界ではそのような価値が付与されてきたのでしょうか？ツバメの巣を事例に、モノのつながりから異文化世界にアプローチする視点とその面白さをお話しします。



半田 侑子

衣笠総合研究機構
研究員

2017年の加藤周一

専攻 戦後日本思想史

研究者の道に進んだきっかけ 本や、人との出会い。

研究内容紹介 皆さんは、加藤周一を御存知でしょうか。加藤周一（1919–2008）は戦後を代表する知識人の一人です。立命館大学図書館には、加藤が遺した膨大な蔵書類、ノート類、資料が寄贈されました。それが「加藤周一文庫」です。二・二六事件、日中戦争、十五年戦争の時代に青春を過ごした加藤は、敗戦後、日本思想史の本質的な特徴とは何か、何が日本文化を特徴づけているかを問い続け、文学や政治などの領域を超えた執筆活動を行います。加藤の思想はその代表作『日本文学史序説』や『日本文化における時間と空間』に結実します。私の研究では未発表資料の分析によって、加藤の思想を再検証しています。再び個人や理性、法や科学的態度が無視される現在、加藤の方法を検証することは、日本の今日と明日を考えることに他なりません。



竹田 晃子

衣笠総合研究機構
専門研究員

なぜ日本語の方言を研究するのか
——文法・語彙・オノマトペ

専攻 日本語学・方言学・社会言語学

研究者の道に進んだきっかけ 大学進学を機に地域によってことばが違ふことに気づき、「方言」が、学問対象であることや、古典語・社会構造と関係することを知って、さまざまな疑問を追求したいと思うようになりました。

研究内容紹介 体の不調を表現するために、キヤキヤ／ハカハカ／ウルウルという語を使った経験はありますか？ 苦しみの表現でエライ／シンドイ／コワイ／アンバイワルイという語を聞いたことはありますか？ 品物をもたらしたとき、アリガトという語を使わずに感謝を表現することはできますか？ 日本語は地域差・属性差が多様で、日常会話にはさまざまな方言が使われています。日本語方言の文法・語彙・オノマトペについて、これまで取り組んできたことを紹介します。



立石 祥子

衣笠総合研究機構
専門研究員

パブリック・ビューイング
——みんなでみるテレビの意味

専攻 社会学（メディア論）

研究者の道に進んだきっかけ 身近な研究者に魅力的な先生が多かったので、「この人たちの仲間になりたい！」と思いました。

研究内容紹介 見知らぬ人々とともに公共の場でテレビ中継を視聴する「パブリック・ビューイング」が、近年耳目を集めています。2002年のサッカーワールドカップ日韓大会では、大騒ぎする若者たちがバッシングされ、2006年のドイツ大会では巨大スクリーンに向かってドイツ国旗を振る人びとの姿がヨーロッパじゅうに大きな衝撃を与えました。なぜ公共の場でテレビを見るのか、参加する若者は何を感じているのか、日本と海外ではどのような違いがあるのか、といった問いを出発点に、メディア論の立場から研究をおこなっています。



北場 育子

総合科学技術研究機構
准教授

星が死んだら地球が冷える！
——宇宙が支配していた気候変動

専攻 古気候学・宇宙気候学

研究者の道に進んだきっかけ 気候がなぜ変わるのか、これからどのように変わるのか——気候変動に関しては、まだまだ謎が多いです。中でも宇宙と地球の気候の関係を知りたくて必死で研究していたら、いつの間にか研究者になっていました。

研究内容紹介 過去に何度も起こった地球寒冷化——なんと！それを説明する鍵は、宇宙のはるか彼方に隠されているかもしれないのです。星が死ぬと、高いエネルギーをもつ放射線が地球に向かってやってきます。地球は、太陽や自らが生み出す磁気シールドによって守られていますが、このバリアの強さは時々刻々と変化してきました。磁気シールドが弱くなったとき、地球では何が起こったのでしょうか？海底に眠るわずかな数十ミクロンの化石から気候変動の歴史を紐解きます。

【会 場】 立命館大学衣笠キャンパス 創思館 1 階 カンファレンスルーム

【日 時】 毎週火曜日 12:20▶12:50

【主 催】 衣笠総合研究機構、立命館グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)、立命館大学リサーチライフサポート室

【お問合せ】 衣笠リサーチオフィス TEL: 075-465-8224 / FAX: 075-465-8342



ライスボールセミナーのFacebookを開設しました！
<https://www.facebook.com/riceballseminar>

